



凱旋

池本夢実選手(平栗区)が
ボクシング日本女子フライ級
初代チャンピオンに



3月8日、後楽園ホール(東京都)にて「ボクシング日本女子初代フライ級王座決定戦」が開催され、池本夢実選手(平栗区)が同級初代チャンピオンに輝きました。

3月26日、池本さんが役場本庁を訪れ、鈴木町長に勝利を報告しました。



▲川根茶の色をモチーフにしたユニフォーム

目指すのは「世界王者」
池本選手は、琉球大学(沖縄県)の4年生。離島や山間地での教員になることを目指して、勉学に励んでいます。
本格的にボクシングを始めたのは、大学入学直後。「琉球ジム」に通って力を付け、2年前にプロデビューしました。
今回の王座決定戦は、女子フライ級の初代チャンピオンを決める試合で、同級2位の池本選手と1位の小関有希選手が対戦。池本選手が終始優勢に試合を進め、3対0の判定で勝利しました。
鈴木町長は「町の宝。これから全町民で応援していきたい」と祝福すると、池本選手は「今回の里帰り、多くの方に応援いただいていることを実感しました。まずは防衛戦で勝ち、その後は東洋、世界と上を目指していきたい」とさらなる飛躍を誓いました。

★池本 夢実 いけもと・ゆめみ

5歳から町内で空手を習い始め、常葉菊川高在学中には全国大会で3位に入賞。今回の決定戦を含めたプロとしての戦績は5勝1敗。「しずおか市町対抗駅伝競走大会」では、川根本町代表として5回出場。

空手に打ち込む後輩たちを訪問▶



待望

3月20日
国道362号青部バイパス
全線開通

町の一体化と発展の一助に
国道362号青部バイパスの開通式が挙行され、鈴木町長をはじめ関係者約100人が出席しました。
国道362号の元藤川崎平間(約3キ)は、狭あいのため対向車のすれ違いが困難となる箇所が多く、日常生活での不便を来していたほか、観光シーズンには渋滞が発生していました。このため、県では、元藤川から青部を通り崎平へと接続する青部バイパスの整備を進めてきました。そして、このたびの青部トンネルと新設道路の開通により、すでに開通している区間とあわせて、青部バイパスの全区間(1.7キ)の供用が開始されました。
式典では、鈴木町長が「旧町間をつなぐ町営バスの運行をはじめ、観光・商工・防災などの面で計り知れない効果が期待できるこの青部バイパスを、まちづくりの重要なツールとして利用していきたい」と式辞を述べました。
また、赤石太鼓保存会が勇壮な演奏で式典を盛り上げたほか、町内の幼稚園・保育園児が風船を空に飛ばして開通を祝いました。

